

C-36	発達の段階に即したプログラミング演習		
研 修 の 目 標		対 象 と 定 員	
小・中・高におけるプログラミングについて、基礎的な理解を深めるとともに、実践を通じて知識と技術を身に付ける。		幼保認	☐ 小 ☒ 中 ☐ 高 ☐ 特
		教諭、講師（臨時）、非常勤講師 20名	
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。		
日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
7 / 1 (火) 10:00～16:15	○発達の段階に即したプログラミング演習について(講義) ○ビジュアルプログラミングの演習(演習) ○コード入力でのプログラミング演習(演習)	教科等指導力①② 教科等指導力①② 教科等指導力①②	
携 行 品	・U S B等の媒体を利用する場合は、未使用の物が必ずウィルスチェックを行った物を持参する。 ・令和7年度学校教育の指針（電子データ可）		
担当者からのメッセージ	小・中学校及び高等学校では、全ての児童生徒がプログラミングを学ぶようになりました。各教科や総合的な学習（探究）の時間等においてもプログラミングを活用する場面が想定されます。今まで興味をもっていたけれど、取り組むことができなかった方も、この機会にプログラミングの基礎に触れてみてください。実習の内容は、初歩から始め、授業での活用のヒントになるようなプログラムを作ります。		

連絡先：研修チーム 情報教育担当 TEL (018)873-7204